



参加無料

事前申込

気候変動適応オンラインセミナー 「生物が教える気候変動」 ～市民モニタリングと自然生態系の適応策～

2026年2月11日（水・祝）
13:00～16:00



2026年2月10日（火）
申込〆切



定員100名
オンライン開催

[申込URL] <https://forms.office.com/r/h4agb5iSdy>

主催：気候変動適応広域協議会（事務局：環境省東北地方環境事務所）

お問い合わせ：事務局（日本エヌ・ユー・エス株式会社）

tohoku-adaptation@janus.co.jp/03-4577-9703（山本・佐々木）



「生物が教える気候変動」

～市民モニタリングと自然生態系の適応策～

プログラム

13:00 オープニング

13:05 「市民参加型モニタリングによる生物季節観測の意義（仮）」

国立環境研究所 松島 野枝氏

13:45 「市民と取り組むSNSによる生物季節モニタリング（仮）」

事務局

14:25 「高山生態系への気候変動影響とその適応策に向けて（仮）」

北海道大学 工藤 岳氏

15:05 「気候変動適応としての生態系を活用した防災減災・グリーンインフラ」

東京大学 吉田 丈人氏

16:00 クロージング

登壇者プロフィール

国立環境研究所

松島 野枝氏

専門は、カエル類の生態や保全。国立環境研究所が気象庁・環境省と協力して実施している「市民調査員と連携した生物季節モニタリング」の担当2代目として、研究と市民をつなぐ役割を担っている。



北海道大学地球環境科学研究院

工藤 岳氏

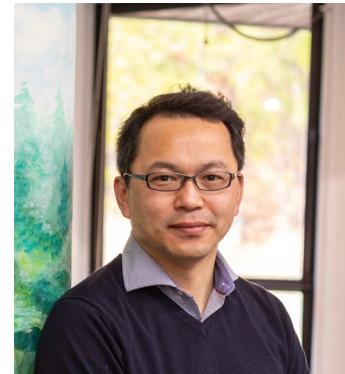
東京都生まれ。専門は、植物繁殖生態学・送粉系生態学・気候変動生態学。高山植物のフェノロジー、生活史戦略など進化生態学に関する研究、気候変動と生態系の応答など多様な研究を行っている。



東京大学総合文化研究科

吉田 丈人氏

福井県出身。専門は、生態学と陸水学。生物や生態系に見られる多様性や複雑性を適応やシステムの視点から解き明かす研究と、人と自然のかかわりの理解とその持続可能性についての研究に取り組んでいる。



主催：気候変動適応東北広域協議会（事務局 環境省東北地方環境事務所）

【個人情報の取り扱いについて】

お預かりした個人情報は、本セミナーの参加受付のために利用させていただきます。集計作業等のために他に預託することはございません。また、お預かりした個人情報は、日本エヌ・ユー・エス株式会社の「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.janus.co.jp/about/policy/>) に従って適切に取り扱います。